教育研究業績書

2025年05月07日

所属：歴史文化学科

資格：准教授

氏名：河野 未央

研究分野	研究内容のキーワード	
日本近世史、アーカイブズ学	地域、都市、港湾、古文書、歴史資料、文書館、アーキビスト、史料保存、自然災害、自治体史編さん	
学位	最終学歴	
博士（学術）	神戸大学大学院文化科学研究科	
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 高等学校での模擬授業実施	2024年10月3日	好文学園女子高等学校で「歴史から見る現代社会」をテーマに模擬授業を実施。
2. 社会教育施設との連携	2024年6月2日	「学び発見ゼミ」（共通教育科目）で、アーカイブズ見学を実施。歴史的公文書、古文書等を学生が手に取って調査する機会を準備した。
3. 高大連携の取り組み	2012年5月	兵庫県立須磨翔風高等学校において、博物館学を講義。博物館・図書館など社会教育施設の基本的理解を得るとともに、古文書等の博物館資料の内容解説を実施した。
4. 主体的「学び」の実践（双方向授業）	2011年4月2014年3月	近大姫路大学（現姫路大学）博物館実習担当教員として文化財取り扱いの技術指導を行う中で、取り扱い方法としての決め事などは最初から回答を伝えず学生からアイデアを募り議論する中で、「なぜそうなのか」を考えさせる指導を行った。学生からの創意工夫や改善点の提示を促し、実践にあたって取り入れ、問題点等が無いが、検証を試みた。
2 作成した教科書、教材		
1.（社会教育・生涯学習教育対象の教材）「みんなの尼崎大学」武庫キャンパスオンライン講座「武庫地区の農業水路巡ってみた」（Youtube動画）への出演	2020年12月	尼崎市武庫地域課が企画したフィールドワーク講座。近世武庫地区の水利について解説を担当。 https://youtu.be/oQ1-VHPQN0g
2. 奥村弘他編, 地域歴史遺産と現代社会, 神戸大学出版会(共著)	2018年1月	神戸大学文学部開講「地域歴史遺産保全活用基礎論」の教科書。 「大規模自然災害から地域史料を守り抜く一過去、現在、そして未来へ」の執筆を担当。
3. 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編, 「地域歴史遺産」の可能性, 岩田書院(共著)	2013年7月	神戸大学文学部開講「地域歴史遺産保全活用基礎論」の教科書。 「風水害からの歴史資料保全」の執筆を担当。
4. 奥村弘・松下正和・河野未央・宮瀧交二・大橋幸泰, インターネットオンデマンド「史料保存と歴史学」	2009年5月2009年10月28日～12月28日配信	早稲田大学教育学部開講、地歴科教員免許更新講習「史料保存と歴史学B」の教材。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 平成29年度アーカイブズ・カレッジ（史料管理学研究会）講師	2017年11月16日	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館主催の平成29年度アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉（京都会場）において「地域とアーカイブズ」の講義を担当、尼崎市立地域研究史料館におけるアーキビストとしての職務及び活動実践について紹介した。
4 その他		
1. 教員免許状更新講習ゲスト講師（於近大姫路大学）ワークショップを取り入れた実践型の指導	2014年2016年	近大姫路大学教育学部にて開催された教員免許状更新講習（選択領域）において、地域史料の保存機関職員として、ゲスト講師を務めた。尼崎市立地域研究史料館所蔵の地域に遺された古文書・近現代史料を用い、史料の内容・特徴を解説。その後史料を用いた授業の指導案をグループワークで作成、全体発表後に相互で講評・議論をすることで、地域史料の授業での具体的な活用について学ぶ場を持った。
2. 教員試験対策講座への参画	2013年3月	学生と教員で小学校教員を目指す学生に向けた教員試験講座を開催、学生からの要望のあったテーマ史（外

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
3. 地域貢献事業への参画	2012年10月	交史)の解説を行った。 平成24年度姫路市シニアオープンカレッジへ出講、江戸時代の文化と古文書に触れる講座を開催した。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 独立行政法人国立公文書館認証アーキビスト	2021年1月1日	JCA2020065
2. 学芸員資格	1999年3月31日	
2 特許等		

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 尼崎市公文書管理制度審議会事務局	2020年12月2022年4月	尼崎市公文書管理等に関する条例の制定及び条例に基づいた同市の公文書管理制度の構築と運用に向けた審議を行う審議会を開催するにあたり、歴史的公文書の利用公開の実務を担う歴史博物館の管理職として事務局を務めた。審議会のほか、尼崎市の情報公開・統計担当(当時)とワーキング(勉強会)や条例文言の検討、運用体制案の作成と庁内各局の調整を行った。
2. 学芸員実習生の受け入れ	2014年2023年	旧尼崎市立地域研究史料館、その後尼崎市立歴史博物館において、学芸員実習生を受け入れ、古文書等歴史資料の取り扱い、調査方法などについて講習を実施
3. インターン生の指導	2014年2019年	旧尼崎市立地域研究史料館において公務員志望の学生を受け入れ、庶務事務や市民講座の企画立案等についてOJTを実践。
4. 神戸大学文学部地域連携センター(現神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター) 研究員	2009年4月2011年3月	研究員として尼崎市、神戸市、旧播磨新宮町(現たつの市)、旧香寺町(現姫路市)、神崎郡福崎町、三田市等兵庫県下の基礎自治体との連携事業として地域の歴史文化を活かしたまちづくり活動に従事。

4 その他		
1. てらまちプロジェクトへの協力	2018年2022年	尼崎信用金庫と阪神電鉄が2017年より開始した地域活性化プロジェクトに協力。「てらまちクロニクル」「てらまち学」などに出講。また「尼崎ご当地講談会」で歴史解説を実施。
2. 「尼崎市史」を読む会 講師	2015年2023年	1994年10月より中央図書館の連携事業として開始した月1回開催の「尼崎市史」の解説講座「『尼崎市史』を読む会」の講師を2015年より担当。2017年9月から北図書館例会も開始、2021年4月より講師を担当。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. アーカイブズ学入門	共	2024年7月	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館編、勉誠社	「アーカイブズの管理・利用②一市区町村の例」を分担執筆。
2. みちかな歴史のつむぎかたー自治体史編さんへ向けた大字誌の可能性ー	共	2023年3月	ぐんま地域文化遺産フォーラム2022記録集、群馬県立女子大学群馬学センター・群馬歴史資料継承ネットワーク	「『尼崎市史』及び『紀要』の編さんと史料の「活用」」(報告原稿掲載)
3. COVID-19の下で、記録に向き合うー博物館、史料レスキュー活動と状況の記録ー	共	2022年3月	佐藤大介・川内淳史編、東北大学災害科学国際研究所	第2章「『震災資料』の現在」のうち、「尼崎市立歴史博物館“あまがさきアーカイブズ”(旧尼崎市立地域研究史料館)における阪神・淡路大震災資料の収集と公開についての報告」部分の執筆を担当。
4. 尼崎藩主三代の軌跡	共	2020年10月	尼崎市立歴史博物館図録	藩主評伝(コラム)のうち、「戸田氏鉄・大坂城修築普請の敏腕ゼネラルマネージャー」「青山幸成・大御所徳川秀忠の懐刀」「青山幸利・青山家の家督相続事情-青山幸利のエンディングノート」「青

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
5. 2014～2018年度科学研究費補助金・基盤研究B(課題番号26284095)研究成果報告書, 研究代表者: 岩城卓二, 幕末期における大坂・大坂城の軍事的役割と畿内・近国藩	共	2019年3月	京都大学人文科学研究所	山幸督・倍返し!? 大坂町奉行所の裁決を覆した尼崎藩の機転」 「松平忠告・幕府政治に翻弄された『趣味人』」「松平忠栄・藩政改革に尽力」を執筆。 「服部文庫「何手控 二」について」を執筆。
6. 地域歴史遺産と現代社会	共	2018年1月	奥村弘他編、神戸大学出版会	「大規模自然災害から地域史料を守り抜く一過去、現在、そして未来へ」の執筆を担当。
7. たどる調べる尼崎の歴史	共	2016年10月	尼崎市	「西撰「三ヶ浦」の研究」「民間所在史料(近代の文書類)」「民間所在史料(現代の文書類)」の項目を担当。
8. 尼崎百物語	共	2016年4月	大江篤編、神戸新聞総合出版センター	尼崎の伝説・伝承について、「桜井神社の句碑」「尼崎藩の土木工事」「豊臣秀吉と尼崎」「荒木一族の処刑」「義民伝承」「おぼただの宮」の項目を執筆。
9. たつの市ブックレット、たつの史研究	共	2015年2月	たつの市教育委員会	「古文書入門」、「江戸時代の地域と医療」、「八瀬家住宅から発見された年貢免状」を執筆。
10. 交錯する知-衣装・信仰・女性	共	2014年3月	武田佐知子編、思文閣出版	論文「一八世紀中葉の兵庫津方角会所と惣代の家-岡方惣代善八の不正事件をめぐる」を執筆。
11. 歴史文化を大災害から守る-地域歴史資料学の構築-	共	2014年1月	奥村弘編、東京大学出版会	論文「水濡れ史料の吸水乾燥ワークショップの展開」を執筆。
12. 「地域歴史遺産」の可能性	共	2013年7月	神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編、岩田書院	「風水害からの歴史資料保全」の執筆を担当。
13. 平成24年度明延鉦山生活文化調査研究成果報告書	共	2013年3月	近大姫路大学教育学部	養父市教育委員会から受託した調査業務「明延鉦山生活文化調査」の成果報告書。かつての住人からの聞き取り・フィールドワーク(鉦山跡・神社仏閣・石造物等文化財調査)・古文書等文献調査を実施。
14. 親聞記(とぶんき)の世界(一)-播磨国からみる江戸時代-	共	2012年1月	神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	市民と大学が共同で地域の歴史を学ぶ神戸大学近世地域史研究会の設立経緯と、18世紀、城下町龍野町商人が記した風聞記「親聞記」史料の解説を担当。
15. 江戸時代の古絵図にみる山本村の歴史	共	2012年1月	神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	掲載絵図の翻刻文を担当。
16. 香寺町史 村の歴史, 通史編	共	2011年8月	兵庫県姫路市香寺町	第四章近世 第一節「姫路藩の成立と近世村の成り立ち」、第三節「村を越えた支配と民衆の動き」を分担執筆。
17. 三田藩九鬼家史料目録	共	2011年3月	兵庫県三田市	三田藩の軍制及び家政機構である「奥」に関する解説。
18. 丹波ブックレット1 丹波の歴史文化を探る~古文書との出会い~	共	2011年3月	丹波市教育委員会, 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	「元治二年、氷上町域を襲った地震について~村々から代官に寄せられた「速報」から~」を分担執筆。 江戸時代に丹波市氷上町を襲った地震の被害状況を同地域の史料より検証。
19. 水損史料を救う-史料ネットによる風水害からの歴史資料保全-	共	2009年5月	河野未央・松下正和編、岩田書院	2004年台風23号により被災した兵庫県北部・京都府北部の民間所在歴史資料の救出・保全活動の実践報告、及び歴史資料の防災のための取り組みとしてワークショップ開催について論じた。
20. 香寺町史 村の歴史, 通史資料編	共	2009年3月	兵庫県姫路市香寺町	香寺町の近世史に関して分担執筆。
21. 私たちの文化財を救え!! 災害と向き合う	共	2007年1月	文化財修復学会編、クパプロ	2004年の台風23号による歴史資料の被災状況とその保全のための取り組みを紹介する「歴史資料ネットワークの取り組み」を執筆(報告原稿を掲載)。
22. 香寺町史 村の記憶, 資料編	共	2005年3月	香寺町(現姫路市)	掲載史料の選定。香寺町域の村明細帳及び村方史料の翻刻及び解説について執筆。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
23. 播磨新宮町史, 史料編	共	2005年3月	新宮町(現たつの市)	掲載史料の選定。村方史料の翻刻及び解説を執筆。
2 学位論文				
1. 近世大阪湾沿海地域形成史-国役編成の問題を中心に-	単	2007年9月	神戸大学提出、博士(学術)	海上交通役を通して、近世大阪湾沿海地域の地域編成の様相を明らかにするとともに、広域的な地域編成のなかでの港湾都市兵庫津の都市機構が形成されていく姿を実証した。
2. 尼崎藩支配下における兵庫津の都市構造とその機能-「三ヶ浦」結合と惣代をめぐる問題-	単	2001年3月	神戸大学提出、修士(文学)	従来研究が無かった尼崎藩支配下における兵庫津の都市機構(町役人)形成過程の具体的分析により、中世以来の歴史を有する湊町の近世都市への変容を明らかにした。都市内部の構造分析だけでなく、近隣の沿海地域における兵庫津の機能に着目し、その位置づけを明らかにした。
3 学術論文				
1. 地域史の成果を「補填」する試みとその視点-女性史・ジェンダー史を中心に-	単	2024年10月1日	神戸史学会『歴史と神戸』366号(63巻5号)	地方史研究協議会大会開催に寄せて組まれた「特集 兵庫地域史研究の新たな試み」の招待論文。女性史・ジェンダー史研究の今後の取組に関して問題提起。
2. 自治体史の「活用」の具体的手法を考える-『たどる調べる尼崎の歴史』を素材として	単	2023年12月	神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報『Link』15号	自治体史編纂後の活用方法を具体的に提起。招待論文。
3. 歴史資料をめぐる現代的諸問題-尼崎市を中心に	単	2023年10月	大阪歴史学会、『ヒストリア』300号	歴史資料を保存する行政・民間それぞれの問題と活用のあり方、また保存活用にたずさわる専門職人材について問題提起。招待論文。
4. 認証アーキビスト制度「活用」に向けて	単	2022年3月	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、『記録と史料』32号	国立公文書館認証アーキビスト制度の実施後、現場の文書館の反応について、尼崎市を事例に紹介し、また同制度の活用方法についての提言を行う。招待論文。
5. あまがさきアーカイブズ、始動-尼崎市立地域研究史料館の理念・実践を受け継ぐ-	単	2021年3月	全国歴史利用保存利用機関連絡協議会、『記録と史料』31号	旧尼崎市立地域研究史料館と組織統合後の尼崎市立歴史博物館“尼崎アーカイブズ”の機能と活動を紹介、今後の課題について述べた。招待論文。
6. 尼崎市立地域研究史料館からあまがさきアーカイブズへ-尼崎市の公文書館事業-	共	2021年2月	歴史学研究会、『歴史学研究』1005号	辻川敦との共著論文(招待論文)。小特集「歴史家とアーキビストの対話(第8回)アーカイブズを訪ねる」にて、旧尼崎市立地域研究史料館と組織統合後の尼崎市立歴史博物館“尼崎アーカイブズ”の機能と活動を紹介。
7. 兵庫津：1000年の湊の歴史と北前船	単	2020年4月	日本地図センター、『地図中心』571号	有史以来の湊町兵庫津の歴史を概観し、北前船寄港地としての兵庫津の湊町としての役割について解説。招待論文。
8. 尼崎藩時代における青山家の事績と「青大録」	単	2019年11月	尼崎市立地域研究史料館、『地域史研究』119号	尼崎藩第2代藩主家である青山氏の事績から、江戸幕府の畿内・近国における同氏領の位置づけを説くとともに、藩主青山幸利の事績を記した「青大録」の史料分析を通して史料的価値・位置づけを明らかにした。投稿論文(査読無し)。
9. 地域の歴史を守り伝える-尼崎市立地域研究史料館でのボランティア作業-	共	2018年4月	大阪歴史学会『ヒストリア』267号	城戸八千代との共著。襖の下張りに使用された古文書を地域史料として活用するため市民ボランティアとともに文化財調査として保存修復の技術を取り入れて取り組んだのがし作業の実践報告。招待論文。
10. 尼崎市立地域研究史料館の実践-ボランティアとの協働-	共	2018年3月	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、『記録と史料』28号	城戸八千代との共著。襖の下張りに使用された古文書を地域史料として活用するため市民ボランティアとともに文化財調査として保存修復の技術を取り入れて取り組んだのがし作業の実践報告。招待論文。
11. 兵庫津車屋五兵衛家の生活文化-宝塚市市史資料室寄贈「車田家文書」より「祝い事」を中心に-	単	2017年3月	宝塚市、『市史研究紀要たからづか』28号	兵庫津で内海船の船宿を営み財を成した車屋五兵衛家の親族関係を含めた「家」についての考察。婚礼史料から同家の交流関係を復元した。招待論文。
12. 展示評 神戸大学附	単	2016年12月	神戸大学大学院人	神戸大学附属図書館平成27年度資料展「村上家文書の世界～近世×

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
属図書館「村上家文書の世界：近世×神戸×農村」			文科学研究科地域連携センター、『Link』8号	神戸×農村」（会期2015年10月1日～12月25日）の展示評。課題として「図書館らしさ」を追求した展示の必要性を指摘。招待論文。
13. 近世港湾都市機構の「形成」過程：兵庫津を事例に（査読付）	単	2014年3月	近大姫路大学人文学・人権教育研究所『翰苑』創刊号	尼崎藩支配下における兵庫津の都市機構（町役人）形成過程の具体的分析により、中世以来の歴史を有する湊町の近世都市への変容を明らかにした。投稿論文（査読有）。
14. 展示評 松平家・黒田家旧蔵資料受贈記念速報展「明石藩の世界」	単	2013年11月	神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター、『Link』8号	明石市立文化博物館で開催された「松平家・黒田家旧蔵資料受贈記念速報展「明石藩の世界」」（会期2012年9月8日～23日）の展示評。「誰に見せるか」を想定した展示手法採用の必要性と課題を指摘。招待論文。
15. 17世紀初頭における摂津・河内・和泉三国の支配-喜多見勝忠と島田直時の役割をめぐって-（査読付）	単	2013年3月	『近大姫路大学教育学部紀要』6号	「国奉行」としての喜多見勝忠及び島田直時の支配管轄区域を検討。初代大坂町奉行の島田直時の管轄が大阪湾沿海地域の支配として和泉国にも及んでいるが、当初は属人的支配であったため、島田の死後町奉行の管轄から離れることを指摘。投稿論文（査読有）。
16. 近世初期における海上交通役の編成：摂津・和泉・播磨三カ国沿海地域を素材として	単	2012年2月	大阪歴史学会、『ヒストリア』235号	近世初期における海上交通役について、尼崎藩領・岸和田藩領・明石藩領と幕府領を含めたその他領主支配下にあった大阪湾沿海地域の水主役等の供出のあり方を比較検討、編成方法の実態を明らかにした。学会の大会報告の論文化。
17. 誌上レファレンス 尼崎瓦斯タンク等設計図面	単	2011年9月	『地域史研究』第111号, 尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館所蔵文書群概要（文書群の文書整理結果、文書群の特徴を記したもの）の執筆。
18. 2009年佐用町、宍粟市における水害時の歴史資料保全	単	2011年3月	兵庫県、『新兵庫県史』3号	平成21年(2009)の台風9号により被災した兵庫県佐用町・宍粟市等の歴史資料の救出保全活動に関する報告。招待論文。
19. 「水濡れ史料の吸水乾燥ワークショップ」の開催とその意義-「史料の救命士」の輪を広げる-	単	2011年3月	新潟大学災害復興科学センターアーカイブズ分野、『災害と史料』5号	水害等で被災した歴史資料の応急処置方法をワークショップ形式で各地で紹介する意義について論じる。招待論文。
20. 歴史資料の保全・復興とはどういうことか-2009年台風9号被害対応に寄せて	単	2011年1月	兵庫県神社庁、『兵庫神祇』588号	平成21年の台風9号により被災した兵庫県佐用町・宍粟市等の歴史資料の救出保全活動に関する報告。招待論文。
21. 水損史料の応急処置実習	単	2009年3月	関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター、『文化遺産学交流会』	水害等で被災した歴史資料の応急処置方法に関する報告（招待）。
22. 日野川の渡し船と「四ヶ浦街道」の交通	単	2008年3月	『越前町織田文化歴史館館報』3号	現福井県越前織田町域の、日野川流域をフィールドとして江戸時代の街道交通の実態を検証。招待論文。
23. 『兵庫岡方文書』から見た兵庫の都市支配・都市運営とその変容	単	2008年3月	大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター、『兵庫津の総合的研究-兵庫津研究の最新成果-』	近世期における兵庫津(現神戸市兵庫区付近)の町制機構を検討。招待論文。
24. 阪神・淡路大震災から関西地区水害対応まで～歴史資料ネットワークの修復活動紹介～・「水損史料修復作業マニュアル【応急措置】	単	2008年3月	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター、『罹災文化財救済処置技術意見交換会報告書』	学会・市民等を構成団体とし、民間資料保全・救出を目的としたボランティア団体である歴史資料ネットワークの活動の歴史及び史料保全方法を紹介（招待）。
25. 書評 岩城卓二著『近世畿内・近国支配の	単	2007年7月	日本史研究会、『日本史研究』	岩城卓二氏の著書を批判的に検討。招待論文。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
構造』			539号	
26. 近世兵庫津の町役人・惣代の職務について（査読付）	単	2007年4月	神戸史学会、『歴史と神戸』46巻2号	近世期における兵庫津（現神戸市兵庫区付近）の町役人・惣代の職務を検討。投稿論文（査読有）。
27. 一八世紀における西摂沿海地域と浦役負担	単	2006年11月	尼崎市立地域研究史料館、『地域史研究』102号	近世中期以降の水主役・船役の供出のあり方の変容を分析。投稿論文（査読無）。
28. 江戸時代の西摂津沿海地域と「兵庫津」～公儀役をめぐって～	単	2006年7月	神戸都市問題研究所、季刊『都市政策』124号	江戸時代西摂地域の公儀役を担う際の兵庫津の役割を紹介。招待論文。
29. 近世初期における摂津国沿海地域秩序の形成～いわゆる「三ヶ浦」システムについて～（査読付）	単	2006年6月	神戸大学史学研究会、『神戸大学史学年報』21号	豊臣期以降の西摂地域における国役としての水主役（海上交通役）の実態の変遷を解明した。投稿論文（査読有）。
30. 村明細帳を読み解く～人々の生業とくらしについての一考察～	単	2006年3月	香寺町史編纂室、『ふるさと香寺』7	香寺町域に残存する村明細帳の記載について統計的分析を試みる。招待論文。
31. 書評 塚田孝編『大阪における都市の発展と構造』	単	2005年5月	大阪市立大学日本史研究室、『市大日本史』8号	塚田孝氏の編著を批判的に検討。招待論文。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 大阪歴史学会フィールドワーク、兵庫津から兵庫港へ	単	2012年11月11日	大阪歴史学会	兵庫津（ひょうごのつ）のフィールドワークに際し、案内を担当。
2. 学会発表				
1. 【コメント】歴史認識の共有（共創）とは	単	2024年11月30日	歴史科学協議会大会1日目（於関西大学）	歴史研究者と史料所蔵者、地域の方々との〈対話〉をベースとした歴史認識の共有（共創）のあり方を分析した。また民間所在史料についての現状と課題を史料保存機関の在り方と絡めて指摘した。自治体アーカイブズとしてあまがさきアーカイブズの活動を報告。
2. 自治体アーカイブズのこれまでとこれから～あまがさきアーカイブズの新たな挑戦～	単	2023年12月1日	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会第49回大会、テーマ研究会Ⅱ、会場：駒澤大学	
3. ようこそ あまがさきアーカイブズへー新館の見学・公文書管理条例施行・AtOMの試行ー	共	2022年4月28日	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第159回例会 於：尼崎市立歴史博物館	あまがさきアーカイブズの紹介（辻川敦との合同報告）・尼崎市公文書管理条例について（単独報告）
4. 近世初期の水主役徴発についてー大阪湾沿海地域を中心にー	単	2018年6月2日	京都府立大学、洛北史学会大会	16世紀末～17世紀初頭における大阪湾沿海地域の水主役徴発の実態から、同地域における地域の結合のあり方を分析、地域的特質を明らかにした。
5. 報告1「尼崎市立地域研究史料館の実践」	共	2017年3月4日	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第136回例会「歴史資料保存機関とボランティアの協働」	2本の報告のうち、報告1を城戸八千代とともに担当。襖の下張りに使用された古文書を地域史料として活用するため市民ボランティアとともに文化財調査として保存修復の技術を取り入れて取り組んだはがし作業の実践報告。
6. 講演「歴史資料ネットワークの歩みー今後へ向けてー」	単	2014年6月17日	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会総会講演会	2本の講演のうち、大規模自然災害から民間所在の歴史資料を保全する歴史資料ネットワークの活動を紹介。
7. 近世初期における海上交通役の編成：摂津・和泉・播磨三カ国沿海地域を素材と	単	2012年6月	大阪歴史学会、2012年度大会報告	近世初期における海上交通役について、尼崎藩領・岸和田藩領・明石藩領と幕府領を含めたその他領支配下にあった大阪湾沿海地域の水主役等の供出のあり方を比較検討、編成方法の実態を明らかにした。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
して 8. 16世紀末～17世紀初頭における大阪湾沿海地域の国役編成～海上交通役を中心に～	単	2012年2月24日	大阪歴史学会近世史部会2月例会	摂津国・和泉国沿海地域の水主役徴発のための地域編成について豊臣秀吉の大陸侵攻・朝鮮通信使の海上護送にいたるまでの実態を検証。
9. 講演「風水害からの歴史資料救出と保全－史料の『救命土』を目指して－」	単	2009年10月18日	情報保存研究会	風水害により被災した歴史資料の応急的な吸水乾燥措置方法とともに、市民ボランティアとの史料保全活動実践を紹介。
10. 兵庫津と朝鮮通信使	単	2005年11月22日	木浦大学・神戸大学・中山大学・台湾大学・韓国海洋大学国際学術シンポジウム、於：大韓民国、国立木浦大学校	兵庫津における尼崎藩の朝鮮通信使接待及び朝鮮通信使の護衛の実態を報告。
11. 歴史資料ネットワークの取り組み	単	2005年6月1日	文化財保存修復学会	2004年の台風23号による歴史資料の被災状況とその保全のための取り組みを紹介。
3. 総説				
1. 明治初年頃の食満地区の農業生産	単	2022年1月	「食満のつどい」43（尼崎市食満地区コミュニティ情報誌）	明治初年の食満地区の「物産取調帳」をもとに、同地区の農業生産状況を紹介します。
2. 食満地区で開催された相撲興行	単	2021年10月	「食満のつどい」42（尼崎市食満地区コミュニティ情報誌）	江戸期から近代にかけて食満地区で開催された相撲興行史料の内容を紹介します。
3. 食満地区での伝染病対策-1882年（明治15）の種痘接種-	単	2021年7月	「食満のつどい」41（尼崎市食満地区コミュニティ情報誌）	明治初期の天然痘対策としての食満地区での種痘実施状況を史料をもとに紹介します。
4. 江戸時代食満を治めた領主たち	単	2021年4月	「食満のつどい」40（尼崎市食満地区コミュニティ情報誌）	江戸時代いわゆる「非領国」地域にあたる食満地区の領主支配の錯綜状況を紹介。
5. 「青大録」と青山幸利	単	2020年9月	『蘆荻』5（尼崎の近世古文書を楽しむ会第2第4日曜日会編）	尼崎藩青山家第2代藩主幸利の嘉言善行を記した「青大録」の内容について紹介。
6. アーカイブズが育む「実践知」の模索	単	2020年4月	『RECORDS & INFORMATION MANAGEMENT JOURNAL』第42号（ARMA International東京支部）	水濡れ史料の応急的な吸水乾燥方法を伝える教育プログラムとしてのワークショップの意義を論じる。
7. 解説：福田佐一郎氏文書「兵庫御触書」について	単	2019年4月	『蘆荻』4（尼崎の近世古文書を楽しむ会第2第4日曜日会編）	明治初年の兵庫県からの通達をまとめた福田佐一郎氏文書「兵庫御触書」についての解説。
8. 近世尼崎城をめぐる風景--水面に“浮かぶ”城の姿を思い描く	単	2018年10月	『講演録』20（ギャラクシー水文化の会）	講演録。尼崎の河川・海辺の歴史文化及び近世尼崎城築城経過について紹介。
9. 例会記録：東京大学文書館における資料管理のとりくみについて：理論的理解と	単	2018年3月	『記録と史料』27（全国歴史資料保存利用機関連絡協議会）	全史料協近畿部会第130回例会の記録。国際標準：アーカイブズ記述の一般原則であるISAD（G）及びオーストラリアのアーカイブズ記述様式シリーズ・システムの理論と東京大学文書館の取組の検証。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3. 総説				
実践の試み				
10. 近世初期の水主役徴発について—大阪湾沿海地域を中心に—	単	2018年3月	『洛北史学』21 (洛北史学会)	第20回洛北史学会大会報告要旨。 16世紀末～17世紀初頭における大阪湾沿海地域の水主役徴発の実態から、同地域における地域の結合のあり方を分析、地域的特質を明らかにした。
11. 解説：田口和正氏文書(1)	単	2018年2月	『蘆荻』3 (尼崎の近世古文書を楽しむ会第2第4日曜日会編)	近世常吉村(現尼崎市常吉)の庄屋を務めた田口和正氏文書のうち水論史料を中心に正徳武庫川洪水の内容を紹介。
12. 尼崎藩城下町絵図の翻刻作業	単	2017年10月	『地域史研究』115号, 尼崎市立地域研究史料館	CADでの城下町絵図面と図面記載情報の翻刻作業にあたった市民ボランティアへのインタビュー記事。
13. 古文書は語る(82);西摂地域の浦々のへの支配	単	2015年2月	「古文書を読む」講座機関誌『古文書通信』82 (NHK学園)	西摂の沿海地域村落の動向がわかる古文書の翻刻及び内容を紹介。
14. 兵庫津の歴史を調べてみよう—兵庫城石垣の発見にふれて—	単	2013年11月	『地域史研究』113号, 尼崎市立地域研究史料館	兵庫津のフィールドワーク実践紹介。
15. 大規模自然災害時の歴史資料ネットワークの資料保全活動	単	2012年3月	『埋蔵文化財ニュース』148 (奈良文化財研究所)	風水害からの史料保全活動を中心に、大規模自然災害から歴史資料の保存をはかる活動を展開するボランティア団体の紹介。
16. 大庄屋三木家よもやま話第77話 家を「継ぐ」～三木勇吉の事例から～	単	2011年12月	『広報ふくさき』2011年12月号, 兵庫県福崎町	大庄屋三木家文書より姫路藩大庄屋三木家の家督相続の事例を紹介。
17. 誌上レファレンス 村松一(はじめ)氏文書	単	2011年9月	『地域史研究』第111号, 尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館所蔵文書群概要(文書群の文書整理結果、文書群の特徴を記したもの)の執筆。
18. 大庄屋三木家よもやま話第73話 若き大庄屋・8代当主承太郎の姿～「姫路藩山崎組大庄屋日誌」の記述から～	単	2011年7月	『広報ふくさき』2011年7月号, 兵庫県福崎町	姫路藩大庄屋の役割について具体的事例を紹介。
19. 大庄屋三木家よもやま話第69話 三木家の西国巡礼	単	2011年3月	『広報ふくさき』2011年3月号, 兵庫県福崎町	大庄屋三木家文書より西国巡礼の事例を紹介。
20. 誌上レファレンス 西村亀氏文書(1)(2)(3)	単	2010年9月	『地域史研究』第110号, 尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館所蔵文書群概要(文書群の文書整理結果、文書群の特徴を記したもの)の執筆。
21. 誌上レファレンス 西村亀氏文書(4)	単	2010年9月	『地域史研究』第110号, 尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館所蔵文書群概要(文書群の文書整理結果、文書群の特徴を記したもの)の執筆。
22. 誌上レファレンス 西村亀氏文書(5)	単	2010年9月	『地域史研究』第110号, 尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館所蔵文書群概要(文書群の文書整理結果、文書群の特徴を記したもの)の執筆。
23. 誌上レファレンス 浅尾左兵衛家文書	単	2010年9月	『地域史研究』第110号, 尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館所蔵文書群概要(文書群の文書整理結果、文書群の特徴を記したもの)の執筆。
24. 誌上レファレンス 篠原家史料	単	2010年9月	『地域史研究』第110号, 尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館所蔵文書群概要(文書群の文書整理結果、文書群の特徴を記したもの)の執筆。
25. 福崎町との連携事業	単	2010年3月	『平成21年度歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(8)』, 神戸大学	神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターの連携事業として実施した福崎町との連携事業についての事業報告。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3. 総説				
26. 神戸大学近世地域史研究会	単	2010年3月	大学院人文学研究科地域連携センター 『平成21年度歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(8)』, 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターの連携事業として実施した市民・研究者による神戸大学近世地域史研究会の活動報告。
27. 小野尻村の分村運動	単	2009年10月	『広報たんば』10月号, 兵庫県丹波市	近代の小野尻地区の分損運動を素材として、兵庫県丹波市山南町小野尻地区の所蔵文書を紹介。
28. 台風9号により被災した歴史史料保全活動について	単	2009年10月	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会『会報』86	平成21年の台風9号により被災した兵庫県佐用町・宍粟市等の歴史資料の救出保全活動に関する報告。
29. 「小野尻村絵図」をよむ	単	2009年4月	『広報たんば』4月号, 兵庫県丹波市	小野尻村絵図を素材として、兵庫県丹波市山南町小野尻地区の所蔵文書を紹介。
30. 大手前大学での水損史料修復ワークショップの実施をめぐって	単	2009年3月	『平成20年度歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(7)』, 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	大手前大学で教育プログラムとして実施した水損史料修復ワークショップについての実践報告。
31. 神戸大学近世地域史研究会	単	2009年3月	『平成20年度歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(7)』, 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	神戸大学近世地域史研究会の活動紹介。
32. 誌上レファレンス 辰巳孝志氏文書(1)(2)	単	2008年9月	『地域史研究』第109号, 尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館所蔵文書群概要(文書群の文書整理結果、文書群の特徴を記したもの)の執筆。
33. 誌上レファレンス 尼崎藩砲術訓練関係史料	単	2008年9月	『地域史研究』第109号, 尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館所蔵文書群概要(文書群の文書整理結果、文書群の特徴を記したもの)の執筆。
34. 自治体史編纂のその後-活用のある方を考える-		2008年3月	『平成19年度歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(6)』, 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	研究者と市民が協働し、地域史料の翻刻・研究を実施する神戸大学近世地域史研究会の活報告。
35. 福井県越前町織田(旧織田町)との連携事業	単	2008年3月	『平成19年度歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(6)』, 神戸大学大学院人文学研究	福井県越前町の資料調査・研究の報告。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3. 総説				
36. 大学コンソーシアムひょうご神戸 水損史料修復ワークショップ	単	2008年3月	科地域連携センター 『平成19年度歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(6)』, 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	大学コンソーシアムひょうご神戸で教育プログラムとして実施した水損史料修復ワークショップについての実践報告。
37. 史料紹介・播磨新宮池田家史料の紹介	単	2008年3月	『平成19年度歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(6)』, 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	研究者と市民が協働し、地域史料の翻刻・研究を実施する神戸大学近世地域史研究会の活動記録と成果としての史料翻刻を掲載。
38. 史料論・文書管理論	単	2007年6月	史学会、『史学雑誌 回顧と展望』第117編第5号	2006年歴史学会における史料論・文書管理論の紹介。
39. 尼崎市との連携事業・尼崎市制90周年	単	2007年3月	平成18年度神戸大学文学部地域連携センター事業報告書『歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(5)』, 神戸大学文学部地域連携センター	尼崎市の市制90周年記念として開催された尼崎の歴史展示及び関連の子どもワークショップへの協力についての報告。
40. 新宮町史の編纂事業	単	2007年3月	平成18年度神戸大学文学部地域連携センター事業報告書『歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(5)』, 神戸大学文学部地域連携センター	神戸大学文学部地域連携センターの連携事業として実施した新宮町史編纂についての事業報告。
41. 香寺町史編纂事業	単	2006年3月	平成17年度神戸大学文学部地域連携センター事業報告書『歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(4)』, 神戸大学文学部地域連携センター	神戸大学文学部地域連携センターの連携事業として実施した香寺町史編纂についての事業報告。
42. 新潟県中越地震と文化財・歴史資料-1年間のとりくみ-	単	2006年3月	平成17年度神戸大学文学部地域連携センター事業報告書『歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自	新潟県中越地震での文化財・歴史資料保全の動向についての報告。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3. 総説				
43. 歴史フォーラム 台風二三号による被災した歴史資料の救出・修復活動について	単	2005年6月	治体等との連携事業(4)』,神戸大学文学部地域連携センター 『神戸大学史学年報』20,神戸大学史学研究会	歴史資料ネットワークが実施した2004年の台風23号により被災した歴史資料の救出・修復活動の報告。
44. 教育プログラムの開発に向けた諸事業(4)水損史料修復ワークショップ	単	2005年3月	平成16年度神戸大学文学部地域連携センター事業報告書『歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(3)』,神戸大学文学部地域連携センター	教育プログラムとして、水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法ワークショップの実践方法。
45. 神戸市北区丹生山明要寺跡・神戸市中央区滝山城址遺構の分布調査	単	2005年3月	平成16年度神戸大学文学部地域連携センター事業報告書『歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(3)』,神戸大学文学部地域連携センター	神戸大学文学部地域連携センターの連携事業として実施した神戸市北区丹生山明要寺跡・神戸市中央区滝山城址遺構の分布調査の事業報告。
46. 水車小屋調査について	単	2004年3月	平成15年度神戸大学文学部地域連携センター事業報告書『歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(2)』,神戸大学文学部地域連携センター	神戸大学文学部地域連携センターの連携事業として実施した住吉川沿いに残る水車小屋跡の調査報告。
47. 香寺町史の編纂事業について	単	2004年3月	平成16年度神戸大学文学部地域連携センター事業報告書『歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業(3)』,神戸大学文学部地域連携センター	神戸大学文学部地域連携センターの連携事業として実施した香寺町史編纂についての事業報告。
48. 平成14年度研究会報告：西摂研究会	単	2003年9月	『地域史研究』第96号,尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館にて研究者と市民により定例で開催のあった研究会の概要報告。
49. 歴史通信 歴史資料ネットワークの組織改革について	単	2003年4月	日本史研究会、『日本史研究』488	大規模自然災害から歴史資料を保全するボランティア団体が会員制団体に移行した組織改革について経緯を紹介。
50. 研究会報告 西摂研究会	単	2002年10月	『地域史研究』第94号,尼崎市立地域研究史料館	尼崎市立地域研究史料館にて研究者と市民により定例で開催のあった研究会の概要報告。
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 展示協力：八瀬家住宅特別公開「八瀬家で学ぶ歴史～築二〇〇年の建物で新発見古文書を展示」	共	2011年11月5日～6日	於：兵庫県たつの市指定文化財「郷目付八瀬家」住宅	八瀬家のふすま下張り文書から新たに発見された古文書の展示。展示史料選定・解説パネル・キャプション作成。
2. 展示協力：神崎郡歴史民俗資料館特別展「民俗学のふるさと福崎～幼き國男に刻まれた福崎文化～」	共	2011年10月21日～11月23日	於：福崎町立神崎郡歴史民俗資料館	企画立案・展示コンセプトの策定。神崎郡歴史民俗資料館所蔵大庄屋三木家文書等についての史料解説を担当。
3. 展示協力：神崎郡歴史民俗資料館企画展「見つけよう！新たな歴史資料発見～地域の歴史は身近なところに～」	共	2010年10月23日～11月23日	於：福崎町立神崎郡歴史民俗資料館	企画立案・展示コンセプトの策定。神崎郡歴史民俗資料館所蔵大庄屋三木家文書等についての史料解説を担当。
4. 展示協力：神崎郡歴史民俗資料館特別展「姫路藩とふくさき～播磨国のふくさき絵巻～」	共	2010年10月23日	於：福崎町立神崎郡歴史民俗資料館	企画立案・展示コンセプトの策定。神崎郡歴史民俗資料館所蔵大庄屋三木家文書等についての史料解説を担当。
5. 展示会：山本共有財産管理組合主催「山本村の歴史資料展」	共	2010年4月8日～11日	於：あいあいパーク（兵庫県宝塚市）	山本共有財産管理組合所蔵の地域の古絵図を展示。史料解説・キャプション作成を担当。
6. 展示会：朝来市生野町「銀谷祭り」生野書院特別展示「もうひとつの生野～江戸時代の生野をたずねて～」	共	2009年10月	於：朝来市生野町生野書院特別展示室	生野書院所蔵旧生野代官所史料を中心に、展示作成。展示史料の選定から、レイアウト・キャプション・解説パネル等作成を実施。展示会当日解説を務めた。
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 阪神・淡路大震災以降の文化財保全	単	2025年2月2日	武庫川女子大学文学部歴史文化学科主催「第4回歴史文化講座」（於武庫川女子大学文学部2号館5階L-53教室）	阪神・淡路大震災以降、繰り返される大規模自然災害に対して民間所在史料を救出・保全するボランティア活動について紹介。
2. 研究資料アーカイブズ、地域史、地域資料保存、鳴尾、文化財	単	2025年1月27日	第6回MUKOJO研究ポットラック（於：武庫川女子大学サイエンスcommons）	話題提供。大規模自然災害時の資料保全や、地域資料を通じた歴史学習の実践について。
3. 水損資料対応の20年を振り返る	単	2025年1月13日	第11回全国史料ネット研究交流集会in神戸（開催日：2025.1.12-13 於神戸大学総合研究拠点コンベンションホール）	シンポジウムパネリストとしての登壇。2004年の台風23号対応、2009年佐用町水害への対応についての紹介と振り返り。
4. 江戸時代兵庫津の生活文化 - 暮らしを彩るできごと -	単	2024年12月21日	兵庫津歴史講座（於：兵庫県立兵庫津ミュージアムひょうごはじまり館3階 研修室）	尼崎藩領時代の兵庫津町政を知る基礎史料である『官要録』等を用い、兵庫津の風俗や文化等を紹介。
5. 近松門左衛門没後300年記念フォーラム in 尼崎	単	2024年12月7日	於：兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター中ホール	フォーラムに登壇。尼崎市の「ちかまつナウ」事業を歴史的に振り返った。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 兵庫津岡方名主の御用日記『官要録』を読む	単	2024年11月10日	神戸史談会講演（於：こうべまちづくり会館）	尼崎藩領時代の兵庫津町政を明らかにするうえで基礎史料となる『官要録』（『兵庫岡方文書』）の記載から、兵庫津の生活文化を読み解いた。
7. 姫路藩大庄屋の職務と活動—大庄屋三木家を中心に—	単	2024年11月2日	兵庫県神崎郡福崎町主催三木家入門講座⑧（於：三木家住宅 主屋）	姫路藩大庄屋三木家について、大庄屋としての職務・活動を紹介した。
8. 尼崎藩研究の可能性—近年の研究成果の紹介を中心に—	単	2024年10月19日	尼崎文化協会講演会「尼崎藩青山氏と尼崎城を語る—時代小説、まちづくり、歴史研究—」（於：尼崎市中小企業センター1階ホール）	尼崎藩主青山氏初代幸成と二代幸利の事績について紹介。
9. 近世尼崎城・尼崎藩の役割—「尼崎城ハ東西咽喉ノ地ニシテ大坂城ノ先鋒タリ」—	単	2024年8月11日	大阪お城フェス2024セミナー 於：グランフロント大阪	大坂城守衛のための城尼崎城について、解説。
10. ワークショップ「ふすまの下張り文書はがし作業」講習	単	2024年3月30日	羽咋市歴史民俗資料館・歴史資料ネットワーク	ふすまの解体にかかる下張り文書の文化財調査方法の講習。
11. 地域の歴史・文化とアーカイブズ—博物館の活動を中心に—	共	2024年2月12日	日本アーカイブズ学会2023年度研究集会	コメント・コーディネーター
12. 尼崎市立歴史博物館研究者に聞く尼崎の歴史 神崎遊女塚伝説と女性の生き方	共	2024年1月12日	於 尼崎市女性センターテレビエ視聴覚室	辻川敦との合同報告。近世の神崎村の旅人について。
13. 尼崎地域の歴史資料	単	2024年1月11日	尼崎ボランティア・ガイドの会 於：尼崎市立中央北生涯学習プラザ	ボランティア・ガイドの会講習会に講師として登壇。
14. 【資料分科会報告】 災いの資料を未来づくりに—福島と尼崎での取り組み	共	2023年12月17日	第9回公害資料館連携フォーラムin福島 於：福島大学	松本望との共同報告。尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズにおける公害資料整理の現状と課題を報告。
15. 寺町講座「尼崎の産業の歴史」	共	2023年11月19日	於：サンシビック尼崎	市民講座企画に講師として登壇。
16. 『芦屋市史』の史料からみる六甲山と水車	共	2023年11月1日	於：芦屋市民センター	芦屋川カレッジへの出講。
17. 尼崎城と尼崎の歴史について	単	2023年10月16日	ひょうごラジオカレッジ 於尼崎市立小田南生涯学習プラザ	地方スクーリング講師
18. 尼崎城と寺町の関係	単	2023年6月15日	於：尼崎市立中央北生涯学習プラザ	寺町ボランティア養成講座への出講。
19. 園田学園女子大学公開講座・入門尼崎の歴史	単	2023年6月9日	於：園田学園女子大学	市民講座への出講。
20. 全史料協近畿部会の30年とこれから	共	2023年5月23日	於：尼崎市立歴史博物館	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会30周年記念例会のコーディネーター・コメント
21. 『尼崎市史』編纂と史料の「活用」	単	2023年2月26日	オンライン・フォーラム	群馬歴史資料継承ネットワーク・オンラインフォーラムにて旧尼崎市立地域研究史料館・尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズの自治体史「活用」の現状と課題を紹介。
22. 尼崎の文化・歴史再発見！ Part3 尼崎	単	2022年5月18日	於：尼崎市中小企業センター	尼崎倶楽部朝食会講話への出講

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
藩主のつたえ話				
23. 講演「北前船と内海船～海のターミナルとして栄えた兵庫津」	単	2022年2月28日	神戸市兵庫区	日本遺産講座のシリーズとして、北前船と内海船の寄港地である兵庫津の役割を紹介。また、兵庫津史料を用いて北前船の季節性のある航行ルートなどを紹介した。
24. 講演「近世兵庫津の支配機構～尼崎藩の兵庫津陣屋から兵庫勤番所へ～」	単	2022年1月23日	兵庫区講演会（神戸市兵庫区）	令和3年度兵庫区歴史講演会企画第一講演（講演は2本）。尼崎藩領から幕府領へと領主変遷を経た兵庫津の支配機構について、その変容過程を紹介。
25. 歴史講座（ワークショップ）「見て話して、みんなで楽しむ！昔の市報から見るあまがさき」	単	2021年11月7日	尼崎市園田地域振興センター	尼崎市立歴史博物館“あまがさきアーカイブズ”所蔵史料について「まわしよみ新聞」の手法を用いて紹介。史料の活用方法をワークショップ形式で紹介。
26. 講座「幕末期の尼崎藩から明治・大正期の尼崎」	共	2021年10月28日	武庫市民大学（尼崎市武庫地域振興センター）	辻川敦との合同報告。前半の幕末期尼崎藩の動向について担当。大阪湾海防を担った尼崎藩の役割について、尼崎市立歴史博物館所蔵史料をもとに紹介。
27. 城主青山幸利から学ぶ尼崎城	単	2021年9月30日	於：サンシビック尼崎	サンシビック尼崎企画歴史講座への出講。
28. 座談会「プロフェッショナルトークfアーカイブズとフォークロア編」	共	2021年7月28日	於：あまがさきキューズモール	商業施設あまがさきキューズモールとの共催。女性プロフェッショナルが文化や歴史の仕事の具体像を語る。岡本氏は民俗学者の立場を、河野はアーキビストとしての仕事を紹介。
29. 市民と共にあゆむ博物館「である」ためにアーカイブズができることとは？		2021年7月4日	2021年度地域歴史資料継承領域第3回研究会「「統合型」博物館と住民参画－阪神間の事例－」 Zoomオンライン開催	尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズの活動報告
30. 講座「尼崎城を学ぶ」	単	2021年5月27日	サンシビック尼崎寺町講座（公益財団法人尼崎市スポーツ財団）	尼崎城・尼崎藩・尼崎城下町の基礎知識を紹介。まちあるきとセットで開催予定であったが、コロナ禍によりまちあるきは開催せず。
31. 講座「江戸時代の園田地域の農業水利」	単	2021年2月13日	尼崎市園田地域振興センター	近世猪名川水系の農業水利についての解説。
32. 報告「尼崎市立歴史博物館での震災資料の保存と活用」	単	2021年1月30日	第3回北海道・東北地区の歴史資料保全に関するワークショップ（東北大学災害科学国際研究所・北海道大学北方教育研究センター、Zoomによるオンライン開催）	3本ある報告の1本。尼崎市立歴史博物館“あまがさきアーカイブズ”が所蔵する阪神・淡路大震災時に作成された震災記録・震災資料のその後の整理・公開・活用の状況について紹介。
33. 話題提供「地域の歴史をまちづくりに活かすーあまがさきアーカイブズからの発信ー」	共	2020年12月14日	うめきたTalkin' About（大阪ガスエネルギー・文化研究所都市魅力研究室）	辻川敦との合同報告。旧尼崎市立地域研究史料館から組織統合した尼崎市立歴史博物館へ、引き継がれた活動やこれからの取り組みについて紹介。
34. 屏風の下張り文書からのぞく三田藩九鬼家のすがた		2019年11月23日	於：三田市総合文化センター郷の音ホール	展示&セミナー講師として出講
35. 講座「藩主を取り巻く女性」	単	2019年8月3日	みんなのサマーセミナー（みんなのサマーセミナー実行委員会、尼崎市）	みんなのサマーセミナー（講座）において旧尼崎市立文化財取蔵庫と旧尼崎市立地域研究史料館が共同で5回シリーズ講座企画「外伝・尼崎人物史」のうち1コマを担当し、尼崎藩の女性史を紹介。
36. 講演「青山幸利から	単	2019年2月	平成31年度『中国	尼崎藩青山家第2代藩主幸利期における尼崎藩支配の様相を紹介。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
みる尼崎城・尼崎藩		13日	古典に学ぶ会』記念講演会（尼崎市）	
37. 講演「大名戸田氏鉄からみる尼崎～築城・政治・文化～」	単	2019年2月4日	歴史街道事業講演会（尼崎市小田地域振興センター）	尼崎城を築城した初代藩主戸田氏鉄について、築城経過のほか、畿内・近国地域における政治的な立ち位置、また大名茶に興じる姿など、文化的側面を紹介。
38. 講演「大庄南部の昔と今」	共	2018年9月13日	「ほんわか大庄のつどい大庄歴史講演会」（尼崎市大庄まちづくり懇話会）	辻川敦との共同報告。大庄地域の原始古代から近現代にいたる歴史を紹介。講演では前半の、前近代部分、土地形成から近世における新田開発の様相などを担当。
39. 講座「みんなの尼崎大学 Hanabi no manabi」	単	2018年8月25日	みんなの尼崎大学（尼崎市）	近世期の砲術と、尼崎藩の砲術訓練（近世期の花火大会）について紹介。
40. まちあるき企画「歴神ササノオからの挑戦状 目指せ！歴史探偵」	単	2018年8月6日	尼崎市立武庫公民館	夏休み親子講座のまちあるき企画で講師を担当し、武庫地区の歴史スポットを紹介。
41. 講座「尼崎城の主（あるじ）たち」	単	2018年8月4日	あまがさき城下町フェスティバル（尼崎市立中央図書館）	尼崎城再建にあたり、歴代の尼崎藩主にまつわるエピソードや人物像を紹介。
42. 講座「尼崎城の城主はこんな人だった」	単	2018年8月4日	みんなのサマーセミナー（みんなのサマーセミナー実行委員会、尼崎市）	近世期における歴代尼崎城主の人物像を紹介。
43. 講座「みんなの尼崎城セミナー」	単	2018年5月27日	お城ごっことおみやまるしえ（尼崎城再建を祝う実行委員会）	近世の尼崎藩の位置づけ、尼崎城の歴史を解説。
44. まちあるき企画「ブラグウジ#1 城内・大物～甲子園球場の3.5倍?! どんなお城があったのか?～」	共	2018年4月15日	あまらぶ体験隊第22弾（ベイ・コミュニケーションズ）	尼崎貴布祢神社宮司江田政亮氏と公募市民の団体を案内するまちあるき企画講師を辻川敦と共同で務める。 ペイコム12CH 2018年5月14日（月）～20日（日）20時より
45. 講座「尼崎城は見た！」	単	2018年3月17日	シリーズ講座「尼崎城を知る」（尼崎市中央地域振興センター）	3回連続講座「尼崎城を知る」第3回目に登壇。城下町構造、藩主の事蹟、城下の人々の生活・生業について解説。
46. 講座「これだけは知っておきたい！尼崎城基礎知識」	単	2018年3月5日	みんなの尼崎大学商学部オープンセミナー（尼崎中央五番街商店街）	尼崎城再建にあたり、畿内・近国における尼崎藩の位置づけ、尼崎城の築城経緯などを紹介。
47. 講座「尼崎を治めた領主たち」	単	2017年9月27日	中央市民大学教養講座（尼崎市立中央公民館）	尼崎藩主のほか、苛政のため領民が逃散した旗本・青山幸暲、寛政改革で財務の実務をけん引した旗本・柘植正寔、天保改革を主導した水野忠邦など、尼崎市域に領地を有した旗本・大名を事蹟とともに尼崎の領地との関係を紹介。
48. 報告「ボランティアとの協働～尼崎市立地域研究史料館の実践について」	共	2017年7月9日	歴史資料ネットワークシンポジウム「被災資料整理ボランティアのあり方を考える」	城戸八千代との共同報告。旧尼崎市立地域研究史料館の基幹業務（史料整理業務）を支えるボランティアの活動紹介。
49. 報告「地域研究史料館のふすま下張り文書はがし作業とその成果」	単	2017年3月25日	第13回尼崎歴史講座（第16回神戸・阪神歴史講座）「ふすまから出てきた歴史～文書のはがし作業から整	2本の講演と1本の報告のうち、報告を担当。襖の下張りに使用された古文書を地域史料として活用するため市民ボランティアとともに文化財調査として保存修復の技術を取り入れて取り組んだはがし作業の実践報告。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
50. 講演「戸田氏鉄の尼崎築城とまちづくり」	単	2017年2月3日	理・公開にいたるまで～ 小田会歴史街道事業（尼崎市小田地区）	尼崎藩・尼崎城の大坂城守衛という軍事的役割や築城技術にすぐれた戸田家の特徴などについて紹介。
51. 講演「江戸時代の新在家～海上交通・酒造業～」	単	2015年1月24日	新在家ふれあいのまちづくり協議会（神戸市）	江戸時代の新在家村の産業について、海上交通・酒造業を中心に紹介。
52. 報告「公害資料の収集・保存・整理」	共	2014年12月7日	未来に共につなげよう公害資料館の“わ”第2回公害資料館連携フォーラムin富山(公害資料館ネットワーク、環境省、富山県)	城戸八千代との共同報告。尼崎市立地域研究史料館の公害資料（主に大気汚染公害資料）の収集・保存・整理について現状と課題を報告。
53. 講座「乱太郎の仲間たちには尼崎がいっぱい」	共	2014年7月20日	「乱太郎には尼崎がいっぱい～乱太郎が活躍する尼崎ってどんなところ？」（蝌蚪の会 寺子屋事業／大覚寺）	夏休み子ども向け講座。尼崎市域の地名由来を紹介。城戸八千代との共同報告。
54. 講演及びワークショップ「歴史資料ネットワークによる被災歴史資料保全活動 1995阪神・淡路大震災～2011東日本大震災」	単	2012年2月14日	こうちミュージアムネットワーク	松下正和との共同報告。大規模自然災害からの歴史資料保全を担うボランティア団体、歴史資料ネットワークの活動を紹介。また水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
55. ポスター発表「大規模自然災害時の歴史資料ネットワークの資料保全活動について」	共	2011年12月21日	保存科学研究集会 2011, 奈良文化財研究所	中岡宏美・松下正和との共同報告。歴史資料ネットワークの活動について、主に風水害により被災した歴史資料の応急的な吸水乾燥措置方法とともに、市民ボランティアとの史料保全活動実践を紹介。
56. 展示解説「東日本大震災文化財救出活動」	共	2011年9月22日	QOL研究機構社会福祉学研究所シンポジウム「災害から文化とコミュニティーを守る」主催：九州保健福祉大学QOL研究機構社会福祉学研究所, 延岡市	松下正和との共同報告。水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
57. ワークショップ「水損史料修復乾燥ワークショップ」	共	2011年3月7日	大学コンソーシアムひょうご神戸 社会連携助成事業～平常時・災害時における歴史資料の保全・修復ができる人材の育成事業「歴史資料の保全～水害被災地からの提言～」	松下正和との共同報告。水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
58. ワークショップ「水濡れ史料吸水乾燥ワークショップ」	単	2011年2月8日	史料保存・活用研究会, 三重県	水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
59. 講演「尼崎藩の播磨国飛び地支配～木綿専売をめぐる～」	単	2011年1月19日	芦屋市立美術博物館	明和6年(1769)のいわゆる「明和上知」以降尼崎藩領となった西播磨地域について、木綿専売を素材に尼崎藩支配の様相を紹介。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
60. ワークショップ「水濡れ史料の吸水乾燥ワークショップ」	単	2010年12月4日	シンポジウム・被災地から救出した資料の保存方法を考える, 新潟大学	水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
61. ワークショップ「資料保存ワークショップ」		2010年11月24日	第36回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会(京都大会)	水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。松下正和・川内淳史と共同で講師を務める。
62. ワークショップ「水濡れ史料の吸水乾燥ワークショップ」	単	2010年11月6日	吹田市立博物館	水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
63. ワークショップ「水濡れ史料乾燥ワークショップ」	共	2010年9月12日	宝塚の古文書を読む会	松下正和と共同で講師を務める。水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
64. ワークショップ「水濡れ史料を救うー水損史料修復ワークショップー」	単	2010年8月28日	丹波市教育委員会主催講座, 「丹波の歴史文化を探るー古文書との出会いー」	水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
65. ワークショップ「水損史料修復ワークショップ」	共	2010年7月17日	神戸大学史学研究会例会	吉原大志・松下正和と共同で講師を務める。水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
66. 講演「西播磨地域の尼崎藩領～史料紹介をかねて～」	単	2010年6月26日	佐用郡歴史研究会	明和6年(1769)のいわゆる「明和上知」以降尼崎藩領となった西播磨地域について、尼崎藩支配の様相を分析。
67. ワークショップ「水損史料修復ワークショップ」	共	2010年6月19日	愛媛史料ネットワーク, 愛媛大学	松下正和・板垣貴史・吉原大志と共同で講師を務める。水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
68. 講演「兵庫津の都市運営～『岡方文書』から」	単	2010年6月17日	よみがえる兵庫津連絡協議会	近世期の兵庫津の都市機構・町役人の役割とその変遷について、『兵庫岡方文書』から分析した内容を紹介。
69. ワークショップ「水濡れ史料の修復実演」	単	2010年5月8日	神戸史学会主催・第2回落合重信記念賞授賞式	水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
70. ワークショップ「水損史料修復ワークショップ」	共	2010年4月29日	兵庫県立歴史博物館	松下正和と共同で講師を務める。水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
71. ワークショップ「水損史料修復ワークショップ」	共	2010年3月27日	佐用郡歴史研究会	吉原大志と共同で講師を務める。水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
72. 講演「地域における文化財保全と住民・大学ー災害のとき、日常のとき」	単	2010年3月6日	大学コンソーシアムひょうご神戸社会連携助成事業平成21年度成果報告会	地域の文化財の保全と地域史料調査方法の紹介。
73. ワークショップ「水損した歴史資料の保全方法」	共	2010年2月13日	2009年度岡山史料ネットセミナー	吉原大志と共同で講師を務めた。水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
74. ワークショップ「水損史料修復ワークショップ」	単	2010年1月16日	猪名川町生涯学習カレッジ	水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
75. 講演「三木家からみる福崎・播磨～人々の交流～」	単	2009年9月19日	神崎郡歴史民俗資料館, 兵庫県福崎町	大庄屋三木家文書にみえる文化交流の諸相を紹介。
76. ワークショップ「水損史料修復ワークショップ」	共	2009年9月12日	歴史科学協議会	松下正和・吉原大志と共同で講師を務める。水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
77. 講演「近世の兵庫津～瀬戸内海最大の港」	単	2009年9月4日	神戸を世界遺産にする会	16世紀末～17世紀初頭にかけて、豊臣秀吉期の“軍港”としての機能からの変容の過程を国役に焦点を当て紹介。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
湾都市～」				
78. 口頭発表「阪神・淡路大震災から関西地区水害対応まで～歴史資料ネットワークの修復活動紹介～」	単	2009年6月21日	罹災文化財救済措置技術意見交換会、東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター	大規模自然災害からの歴史資料保全を担うボランティア団体、歴史資料ネットワークの活動を紹介。
79. 尼崎市制90周年記念展示「尼崎の歴史展」子ども向けワークショップ「尼崎の土地の成り立ちと歴史を学ぶ」・講師	共	2008年10月7日	尼崎市と神戸大学文学部地域連携センターとの連携事業	中村光夫・益田日吉と共同で講師を務めた。尼崎市域の微地形図、航空写真から尼崎の土地の成り立ちや過去と現在の都市空間の違いを学ぶ子ども向けワークショップを開催。
80. ワークショップ「水害で被災した資料の修復ワークショップ」	単	2008年7月19日	神崎郡歴史民俗資料館、兵庫県福崎町	水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
81. ワークショップ「水害から歴史資料・書籍・写真をまもるフォーラム・水損歴史資料修復ワークショップ」	共	2008年3月10日	大学コンソーシアムひょうご神戸・社会連携事業	松下正和・吉原大志と共同で講師を務めた。水害で被災した紙史料・写真フィルム・写真プリントの応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
82. ワークショップ「水損史料の応急処置実習」	単	2008年3月7日	第2回文化遺産学交流会、関西大学	水害で被災した紙史料の応急的な吸水乾燥措置方法の紹介。
83. 講演「近世兵庫の寺院とまちの人々」	単	2008年2月12日	神戸市兵庫区歴史講演会	尼崎藩による兵庫津の寺院及び町の人々への支配の実態を紹介。
84. 口頭発表「自治体史編纂のその後-活用のあるあり方を考える」	単	2008年2月3日	第6回歴史文化をめぐる地域連携協議会、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	『播磨新宮町史』編纂終了後に研究者・市民が協働し立ち上げた神戸大学近世地域史研究会の活動を紹介。
85. 講演「近世のミナトとその役割～兵庫津を中心に～」	単	2008年1月26日	神戸開港140年記念兵庫区歴史講演会、兵庫県神戸市兵庫区	16世紀末～17世紀初頭にかけて、豊臣秀吉期の“軍港”としての機能からの変容の過程を国役に焦点を当て紹介。
86. 講演「近世のミナトとその役割～兵庫津を中心に～」	単	2008年1月26日	神戸開港140年記念兵庫区歴史講演会、兵庫県神戸市兵庫区	16世紀末～17世紀初頭にかけて、豊臣秀吉期の“軍港”としての機能からの変容の過程を国役に焦点を当て紹介。
87. 報告「台風23号による水損史料の修復について」	単	2005年6月18日	2004年度歴史資料ネットワークシンポジウム	2004年の台風23号による歴史資料の被災状況とその保全・修復のための取り組みを紹介。
88. 講演「近世西摂津地域の村々と年貢米輸送」	単	2003年5月11日	歴史資料ネットワーク・神戸大学文学部地域連携センター共催小講座	神戸市より歴史資料ネットワークが受託した「市民から引き継いだ古文書整理等」に関する成果報告会。1本の報告と2本の講演があり、第一講演を担当。西代村を中心に幕府領村々の大坂や江戸への廻米を紹介。
6. 研究費の取得状況				
1. 災害モニュメントを活かした災害に強いまちづくりの研究	共	2012年4月～2013年3月	JR西日本あんしん社会財団 JR西日本あんしん社会財団研究助成 松下正和（研究代表者）、木村修二（研究分担者）、河野未央（研究分担者）	
2. 前近代日本における歴史的景観形成につ	共	2009年4月～2014年3月	日本学術振興会 科学研究費助成事業	本研究では、前近代日本における歴史的景観・地域秩序の形成に、自然災害が与えた影響を通時代的に検討した。具体的には、①水田

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
6. 研究費の取得状況				
いての災害文化論的アプローチ			基盤研究(C) 研究分担者 課題番号 21520672 体系的課題番号 JP21520672 木村 修二, 松下正和, 森元 純一, 河野 未央, 井上舞, 中岡 宏美, 高橋 清吾	農業の支柱である灌漑用水の地域的利用に注目し、分水慣行の変容に水害や早害などの自然災害が深く関わり、景観や地域秩序の形成にも大きな影響を与えていたことを明らかにした。②災害文化の蓄積が地域社会で進んできたことを、地域住民の努力による災害記念碑の保全の現状を通して確認した。③災害や治水に関する伝承や伝説が、地域的災害の記憶や現実の対応を反映したものであることを明らかにした。

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2025年3月1日～2027年2月28日	大阪市公文書管理委員会委員
2. 2024年4月20日～現在	日本アーカイブズ学会委員
3. 2024年4月1日～現在	三田市文化財審議会審議委員
4. 2013年6月～2015年6月	大阪歴史学会編集委員
5. 2003年10月～現在	歴史資料ネットワーク個人運営委員
6. 2001年10月～2003年10月	日本史研究会総務委員